

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校消防設備改修事業			会計	款	項目	大手	小事	
				01	10	03	01	03	56
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	消防設備の改修による消防法への適合
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 点検により指摘された不良箇所・型式失効等の改善・改修。 消防設備の誤作動等による事故や災害時の生徒の安全を確保。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化対策と同様に、消防設備の改修が遅れている。 非常放送設備及び自動火災報知設備受信機については、消防本部と協議のうえ、計画を策定し改修を実施することとした。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	消防設備改修実施率	45	66	49	%	
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・設備の老朽化による不良のほか、法令改正による既存不適合も発生している。 ・非常放送設備及び自動火災報知設備については、改修費用がかかることから、複数年度の計画的な改修を実施。 ・消防設備の経年により、点検時の指摘事項が増加しており、改修実施率を100%とすることは難しい。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,657,260	2,413,760	1,068,144				
事業費(b)(円)		4,517,520	2,275,560	992,844				
うち一般財源		4,517,520	2,275,560	992,844				
職員給与費(c)(円)		139,740	138,200	75,300				
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.01				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	消防設備改修工事の早期発注	③取組の課題	改修には多額の費用がかかる消防設備も多く、保守点検での指摘に対し改修が追い付いていない。
②今年度(H27)に実施した取組	消防設備の保守点検の結果を踏まえた不良箇所の早期改修	④今後の改善計画	限られた予算の中で実施していくために優先順位を的確に判断し、改修していく。